

家を建てるなら石川県建築組合連合会加盟の信頼できる大工さんにお任せください。北陸の風土に適した木造住宅を一軒、一軒、心を込めて造ります。そこには「安心」があります。
一般社団法人 石川県建築組合連合会



発行所
〒920-0022 金沢市北安江4丁目15-15
(一社)石川県建築組合連合会
TEL(076)262-4714・FAX(076)262-4718
ホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~ishiken/>
編集 広報部 会



迎春

旧平家住宅

【旧所在地】石川県鳳珠郡能登町

【建築年代】十七世紀頃

【指定】石川県指定有形文化財

能登型のきわめて古い農家で手斧仕上げの柱も残っている。

金沢湯涌江戸村 千九〇一―二二三 金沢市湯涌荒屋町三十五番地一

撮影 田下広報部長

新しい年を迎えて



(二社)石川県建築組合連合会

会長 加藤 三郎

平成二十八年の新年を迎え、会員の皆様とご家族の方々に謹んで新年のご挨拶を申し上げますと共に、日頃より(一社)石川県建築組合連合会の事業及び運営に対しまして、ご理解とご支援、ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

昨年は消費税増税で冷えこんでいる中、政府の経済対策で補正予算案に省エネ性能に優れた住宅の新築やリフォーム工事を後押しする「住宅エコポイント」制度の復活が盛り込まれ、少しは業界にうるおいがもたらされた様に思います。多くの業者の方、又職人の仕事が増えた様にも思われます。この流れを継続的に続けて頂かないと、事業に反映されないし、又賃金の単価も上がらない。職人が忙しく、人手が足りないとなれば、嫌でも賃金は上がると思っています。その一方で、職人は自ら勉強と努力を重ねていきたいものです。

昨年の十月に、全建総連第五十六回定期大会が金沢市内を中心に開催されました。青年部役員はじめ、多くの若者に参加して頂き、又組合員や県連事務局の力強い協力もあり、多くの仲間が力を合わせて印象に残る大会に出来た事に、「やれば出来る」と、石川県連の財産と自信になったと思っております。そして執行部役員にも蔭ながら御力

添えを頂いている事を忘れていません。本当にありがとうございます。

さて、一月より社会保障、税番号(マイナンバー)制度が始まります。制度が始まると、中建国保の手続きでも個人番号を記入して頂く事になります。又中建国保組合では、予算確保に向けたハガキ要請行動やアスベスト被害による署名行動、中央では厚労省への要請活動など活発に行っています。ぜひこれらの活動に、ご理解とご協力をお願い致します。

又、暮らしと安心を守る為に、年一回の健康診断を受診して頂く事をお願いしております。自分の為、家族の為、とつても大切な事です。

改めて中建国保と労災は大切なものと思えます。

結びに、組合員各位のご健康とご繁栄を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。



新年の抱負



広報部長 田下 茂良

平成二十七年度は、全建連の第五十六回定期大会が石川県で開催され、その準備と本番で忙しい年となり、また、充実した年でもありました。

平成二十八年は長年の課題である組合員の減少に歯止めをかける事に取り組みたいと思います。簡単にこうすれば良いとか、何か参考になる事が有ればとか、色々模索しながら全員で知恵を出し合って取り組まなければならぬと思っております。

私は、大工の職人にと希望している人を積極的に雇用し、一人でも多くの組合員が増えることを思い、実践していくことが課題と思っております。

また、現場では、休憩時間中に建保の保険の事や一人親方の労災の話をして理解してもらうよう努力しております。

広報部長として、一人でも多くの組合員を増やせればと思ひ、広報の力でみなさんに問い掛けて行きたいと思ひます。

広報副部長 越村 治

新年明けましておめでとうございます。昨年は、待望の新幹線が開業。全建連の大会を始め、各全国組織の大会が石川県で開催さ

れ、北陸は新幹線に沸いた一年でした。この成果は、関東地方に連日連夜マスコミを利用したアピールだったと思ひます。組合員が増大するにも、組合さんが現場「あらゆる職種」における声掛け運動が必要と思ひます。組合の保険のアピールについても、高い民間保険に加入するより、中建国保・一人親方セットに加入「安心して仕事ができる」したほうがどれだけ良いかをアピールするべきだと思ひます。入金金も改正（金沢市建築組合）により、さらに安価となりました。組合員一人が一人を入会させる年になりたいと思ひます。

本年が皆様にとって良い年になるよう祈願し、ご挨拶とさせていただきます。

技術部長 小阪 広行

組合員の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、平素より県連技術部事業にご理解とご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

昨年は、技能まつり、そして各種技能大会、技能検定、事前準備講習会等に参加頂き、また良い成績を納められ、大変うれしく思っております。

さらにマイスター事業として、中学校二校に行つて来ましたが、生徒さんは大変興味を持っておられました。この中より、何名の大工さんが生まれるかなと期待しています。

これからも技術部事業にご協力頂きます様、よろしくお祈り致します。

組合員の皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

厚生部長 高嶋 久男

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年を迎えのこととお喜び申し上げます。

副会長及び厚生部長として、二年目の昨年も健康診査事業、集団健診、グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会、名誉組合員会を皆様方のお力添えのもと滞りなく開催する事ができましたことに、深く感謝いたします。

また、十月に行われまして全建連の全国大会にも多数の方々のご協力を頂き、大成功の内に終わりました事についても重ねて御礼申し上げます。

また、毎年行つております健康診査事業、集団健診ですが、私

ち職人は健康が第一ですから、どうか年に一度の集団健診は全員が受けて頂くことをお願いしたいと思います。

本年も皆様にとって良い年になりますよう、全組合員一丸となつて頑張つていきたいと思います。

指導部長 西田 達夫

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年、指導部は石川の技能まつりに参加をいたしました。包丁研ぎコーナー、物品販売など部員の皆様の応援を頂き、ありがとうございました。

又、全建連石川大会には多数の青年部、市郡役員と、それに組合員の皆様に参加して頂き、お蔭さまで、石川大会は成功裡に終わる事ができました。ありがとうございます。

今年も指導部は基準賃金や組合員加入キャンペーンの実施などを行い、組合員増を目指してまいります。

組合員の皆様のご協力をよろしくお祈りいたします。

本年も組合員の皆様とご家族の健康とご多幸をお祈り申し上げます。

十二月四日〜七日まで、千葉県幕張メッセ会場で開催されました。技能五輪は二十三歳以下の若き技能者の技能レベルを競う大会で、全国二十五道府県から集まった四十一業種一、八四三人の代表者選手が、日頃培った技術を競いました。

今大会、建築大工には全国二十五道府県から七十九選手が参加し、課題「五角形小屋組み」の制作で技能技術を競いました。課題は年々難しくなつてきています。石川県連からは澤井廉選手（金沢市建築組合）が参加しました。大会の結果は金賞が群馬県の林亮太選手、銀賞は北海道、

第五十二回 技能五輪全国大会開催される

県連代表の澤井選手敢闘賞を受賞！ おめでとう

十二月四日〜七日まで、千葉県幕張メッセ会場で開催されました。技能五輪は二十三歳以下の若き技能者の技能レベルを競う大会で、全国二十五道府県から集まった四十一業種一、八四三人の代表者選手が、日頃培った技術を競いました。

今大会、建築大工には全国二十五道府県から七十九選手が参加し、課題「五角形小屋組み」の制作で技能技術を競いました。課題は年々難しくなつてきています。石川県連からは澤井廉選手（金沢市建築組合）が参加しました。大会の結果は金賞が群馬県の林亮太選手、銀賞は北海道、



てほしい。」とコメントがありました。

若手大工の皆さん、澤井さんに負けずに技能をより一層磨き、来年の大会出場を目指そう！

技能五輪大会に出場して

（有）タシタあすなろ建設 澤井 廉

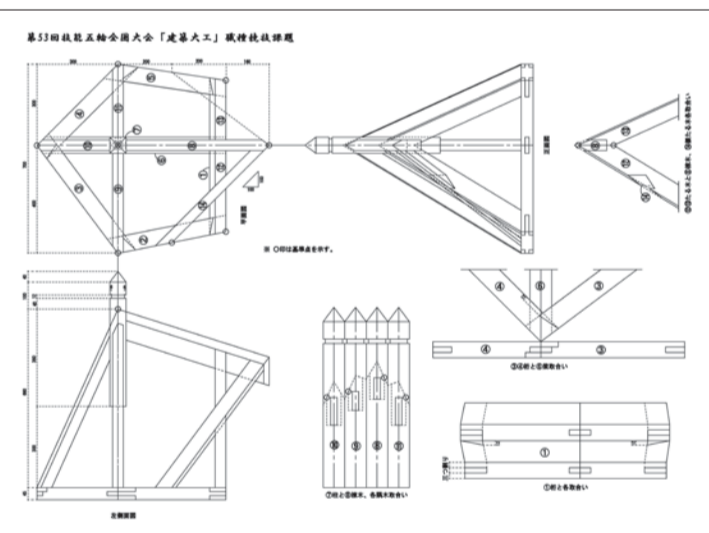
千葉の二名の三選手、銅賞二選手、敢闘賞は澤井選手他で、当日は発表課題に一部東部材が追加され、より高度な課題となり、何人もの選手が脱落する中、澤井選手は日ごろの練習成果を存分に発揮し、大健闘の受賞でした。

私は今回三度目の出場で敢闘賞をとることが出来ました。

建築大工では、制限時間内に原寸図、木削り、墨付け、加工・組立ての作業を行い、それに当日発表される課題もこなさなければなりません。過去二回の大会では時間内に仕上げる事が精一杯で、当日発表の課題に取り組み余裕もなく、完成した作品も納得のいくものではありませんでした。

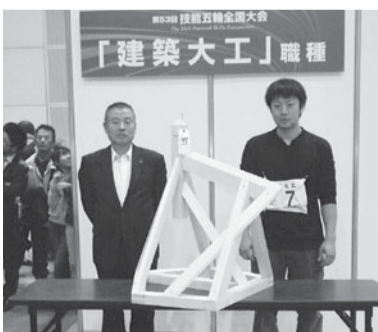
それに比べ、今回は過去二回の大会で感じた会場の雰囲気や時間配分などの経験を活かし、落ち着いて競技に臨む事ができました。当日課題にも挑戦でき、納得できる作品に仕上げる事ができました。結果的に敢闘賞に入賞できた事はとても嬉しく思います。

最後に、こうして大会に参加できたのも周りの多くの支えがあったからだと思ひます。本当に感謝しています。これからは、この経験を仕事に活かし、後輩にも伝えていきたいと思ひます。



大変おめでとうございます。

大会に同行した池田講師からは、「入賞作品はいずれも高レベルで、県連の澤井選手は良く練習を積んで参加された。今後とも技能の研鑽に努め後輩を引っ張つてほしい。」とコメントがありました。



最後に、こうして大会に参加できたのも周りの多くの支えがあったからだと思ひます。本当に感謝しています。これからは、この経験を仕事に活かし、後輩にも伝えていきたいと思ひます。



全建総連第五十六回定期大会

金沢市で開催

魅力ある建設産業へ 心をひとつにして運動を推進!

全建総連は十月二十八、三十日に第五十六回定期大会を開催した。会場の石川県金沢市「本多の森ホール」には、五十三県連・組合から一、五一四人が参加し盛大に開催された。

石川県連からは会長ほか執行部役員、相談役、参加など二十数名が参加、またこの大会の運営に青年部組合員を中心に延べ二五〇人余の方々が、全国からの仲間を歓迎、会場への誘導・案内・受付・資料配布などの業務にご協力をいただきました。

また、本会議開催前の歓迎イベントとして、県連の小阪広行副会長が「能登の



建前」の様子を録画したDVD映像を身振り手振りで紹介し、参加者は興味深く観賞し、続いて輪島市名舟の「御陣乗太鼓」の勇壮なパチさばきの演奏は会場をくぎ付けにしていた。

大会は「組織拡大・強化の力で建設技能者の賃金・労働条件を改善し、魅力ある建設産業にしよう」をメインスローガに掲げ、本会議と各分科会では多くの発言による討論を行い、三日間を通して社会保険未加入対策、国保組合の育成強化、平和と憲法を守る取り組みなどの重点項目を中心とした来期の運動方針を決定した。

大会初日、主催者を代表し、三浦一男中央執行委員長が挨拶。続いて地元からは、石川県連の加藤三郎会長が「石川県での開催が今回で三回目になります。大会運営では石川県連青年部から若いエネルギーをもらい組合員、



「全国的に強くて、全国的に弱くて、全国的に困る必要を、今まで以上に強く感じていく。知恵を出し合い、未来への行動が求められる。」「行政や産業界、さらには各地域の中でも、厳しさを増す情勢ではあっても、諸要求実現のためお互いに助け合い、心をひとつに一致団結してがんばろう」と呼びかけ、参加者は、運動方針を確認した。

三日目の本会議では来期の運動方針案と予算案の提案を受け討議。代議員からは、マイナンバー対応や安全保障関連法反対などについて発言があった。この他に、全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰、功労者表彰、大会スローガンと大会宣言の採択を実施し、新規役員選出では、三浦一男中央執行委員長、勝野圭司書記長他、地元からは加藤県連会長が中央執行委員に再任された。新役員を代表



し三浦委員長は、安保法や労働者派遣法など今年立て続けに通じた法案にふれ、「全国の声を関係機関に届ける必要を、今まで以上に強く感じていく。知恵を出し合い、未来への行動が求められる。」「行政や産業界、さらには各地域の中でも、厳しさを増す情勢ではあっても、諸要求実現のためお互いに助け合い、心をひとつに一致団結してがんばろう」と呼びかけ、参加者は、運動方針を確認した。

二日目は市内十カ所の会場で分科会を実施し、石川県連からは社会保険対策、労働対策等の八分科会に参加した。

三日目の本会議では来期の運動方針案と予算案の提案を受け討議。代議員からは、マイナンバー対応や安全保障関連法反対などについて発言があった。この他に、全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰、功労者表彰、大会スローガンと大会宣言の採択を実施し、新規役員選出では、三浦一男中央執行委員長、勝野圭司書記長他、地元からは加藤県連会長が中央執行委員に再任された。新役員を代表

「全国的に強くて、全国的に弱くて、全国的に困る必要を、今まで以上に強く感じていく。知恵を出し合い、未来への行動が求められる。」「行政や産業界、さらには各地域の中でも、厳しさを増す情勢ではあっても、諸要求実現のためお互いに助け合い、心をひとつに一致団結してがんばろう」と呼びかけ、参加者は、運動方針を確認した。

二日目は市内十カ所の会場で分科会を実施し、石川県連からは社会保険対策、労働対策等の八分科会に参加した。

三日目の本会議では来期の運動方針案と予算案の提案を受け討議。代議員からは、マイナンバー対応や安全保障関連法反対などについて発言があった。この他に、全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰、功労者表彰、大会スローガンと大会宣言の採択を実施し、新規役員選出では、三浦一男中央執行委員長、勝野圭司書記長他、地元からは加藤県連会長が中央執行委員に再任された。新役員を代表

し三浦委員長は、安保法や労働者派遣法など今年立て続けに通じた法案にふれ、「全国の声を関係機関に届ける必要を、今まで以上に強く感じていく。知恵を出し合い、未来への行動が求められる。」「行政や産業界、さらには各地域の中でも、厳しさを増す情勢ではあっても、諸要求実現のためお互いに助け合い、心をひとつに一致団結してがんばろう」と呼びかけ、参加者は、運動方針を確認した。

二日目は市内十カ所の会場で分科会を実施し、石川県連からは社会保険対策、労働対策等の八分科会に参加した。

三日目の本会議では来期の運動方針案と予算案の提案を受け討議。代議員からは、マイナンバー対応や安全保障関連法反対などについて発言があった。この他に、全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰、功労者表彰、大会スローガンと大会宣言の採択を実施し、新規役員選出では、三浦一男中央執行委員長、勝野圭司書記長他、地元からは加藤県連会長が中央執行委員に再任された。新役員を代表



し三浦委員長は、安保法や労働者派遣法など今年立て続けに通じた法案にふれ、「全国の声を関係機関に届ける必要を、今まで以上に強く感じていく。知恵を出し合い、未来への行動が求められる。」「行政や産業界、さらには各地域の中でも、厳しさを増す情勢ではあっても、諸要求実現のためお互いに助け合い、心をひとつに一致団結してがんばろう」と呼びかけ、参加者は、運動方針を確認した。

二日目は市内十カ所の会場で分科会を実施し、石川県連からは社会保険対策、労働対策等の八分科会に参加した。

三日目の本会議では来期の運動方針案と予算案の提案を受け討議。代議員からは、マイナンバー対応や安全保障関連法反対などについて発言があった。この他に、全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰、功労者表彰、大会スローガンと大会宣言の採択を実施し、新規役員選出では、三浦一男中央執行委員長、勝野圭司書記長他、地元からは加藤県連会長が中央執行委員に再任された。新役員を代表



し三浦委員長は、安保法や労働者派遣法など今年立て続けに通じた法案にふれ、「全国の声を関係機関に届ける必要を、今まで以上に強く感じていく。知恵を出し合い、未来への行動が求められる。」「行政や産業界、さらには各地域の中でも、厳しさを増す情勢ではあっても、諸要求実現のためお互いに助け合い、心をひとつに一致団結してがんばろう」と呼びかけ、参加者は、運動方針を確認した。

二日目は市内十カ所の会場で分科会を実施し、石川県連からは社会保険対策、労働対策等の八分科会に参加した。

三日目の本会議では来期の運動方針案と予算案の提案を受け討議。代議員からは、マイナンバー対応や安全保障関連法反対などについて発言があった。この他に、全国青年技能競技大会の上位入賞者表彰、功労者表彰、大会スローガンと大会宣言の採択を実施し、新規役員選出では、三浦一男中央執行委員長、勝野圭司書記長他、地元からは加藤県連会長が中央執行委員に再任された。新役員を代表



定期大会を終えて

会長 加藤三郎

全建総連第五十六回定期大会は、金沢市「本多の森ホール」を主会場に開催されました。石川県での開催が決まり、打ち合わせと準備に全建総連担当者として事務局長との情報のやりとりを繰り返して行ってきました。昨年度の青森大会も参考にさせていただきながら、石川県連ではどんなお世話が出来たのか等、いろいろと打ち合わせを重ねてきました。金沢駅と会場までが少し離れている事もあり、どの様にして案内出来るか、又、天候も心配の一つでした。大会の場所が決まり、幾多も会場の下見をして来ました。又、交差点が多くあり、沢山のサポーターが必要になる事から、その為には青年部の若いエネルギーが不可欠と思いい、青年部の役員や郡連会長も加わって頂きました。会合の中で、青年部の協力を基本に考えている事を伝え、青年部長と金沢連合会長に中心となつて頂き、加賀から穴水まで石川県連全体の協力との考えで組み立てる事が出来た事が大変良かったです。又、組合員や事務局のあたった協力を実を結んだと思っております。相談役、参加監事の方々にもかけて頂き、大変ありがたい事と



金沢城の木造軸組み



前会長河村さんの在籍中に「全建総連の第五十六回定期大会を金沢で」と、話が出た時に、具体的にどういうものかさっぱり想像がつかせませんでした。

昨年の青森大会での、見習い練習の大会であるという思いで青森大会をお手伝

全建総連定期大会で

大会議長 田下茂良

金沢職人大学校の(職員用)駐車場を利用して頂いた事も、大変ありがたかった事の一つです。(金沢職人大学校を中心に行動出来た事も)

全建総連第五十六回定期大会での参加人数は一、五一四人と報告され、一、五〇〇人を超えたのは四年ぶりだと報告されました。又、二日目の十会場に分かれての分科会は近くに集まって出来た事が良かったと思っています。

二年後には青年部二十周年を迎えようとしています。今年大会を機に、青年部が大きくなるべき、まとまっていきたいと確信し、又、応援も考えて行きます。それには、組合長さんのご理解と後押しが最も必要です。よろしくお祈り致します。

今大会中は、大きな雨にもあわず、大きな問題もなく定期大会を終える事が出来ました。これもひとえに、沢山の方々のお力添えを頂いたお陰と心より感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

いしながら見て来ました。局長も地元の組合員の方に質問したり、また写真を撮ったり、見聞きした事をメモにし、一生懸命裏方の作業の手伝いをしていて石川県の大会の参考にしていました。

私自身も出来る限り思う事、感じる事とメモしながら帰路に就きました。

今までに三回の全国大会に参加させて頂きましたが、客席から壇上を見上げる立場、今回加藤会長より議長をと声を掛けられた時、心の中では「え！」と驚きと不安で身震いし、与えられた仕事は一生懸命やろうと決め当日にいとみしました。

地元のアトラクションが終わり、自分の出番。議長席に

座って見ると客席の方が薄暗く少しホッとした気持ちです。

議事進行の中で、熱き想いの方もいて持分の時間に終わらず、議長としての役割の中で時間調整のむずかしさを実感しました。

大会当日は、少し小雨が降る状態でしたが、この時期としては天候に恵まれ、何事も無く無事終了出来たことに感謝し、沢山の組合員の方にお手伝いして頂きお礼申し上げます。



大会に参加して

青年部長 長尾信斉

今大会は石川県で開催という事もあり、青年部の方でも協力の依頼がありました。青年協の全国大会に参加した事はありましたが、基本組合の全国大会は初めてで、青年協の十倍程の規模と聞き是非沢山の青年部の皆にも参加してもらいたいと思っていました。

青年部に声をかけたところ四日間で一五〇名を超える参加があり、ほとんどが初参加でしたが全国の組合員の活動に取り組み姿勢や熱心さに刺激を受けた方も多いいと思います。

私も今大会の運営副委員長をさせて頂いてもらいましたが当初は不安でしたがこんなにも大規模な大会を運営した経験がないので人選、配置、人数と考える事が沢山ありました。しかし、嶋田運営委員長をはじめ、青年部組合員、基本組合員、事務局の皆さんの協力のおかげで無事大会を終えることができました。

今回の経験を忘れず今後も色んなことに取り組みたいと思います。

ありがとうございました。



『もつと知ろう もつと体験しよう 技能と技術』をテーマに平成二十七年十月四日(日)九時から、石川県産業展示館三号館、ポリテクセンター石川の両会場で開催され、例年どおり参加しました。組合員の皆様からご寄付いただいたまな板やスノコ板、玩具、プラントー等を即売しました。

また、包丁研ぎコーナーは毎年人気があり担当の役員も大忙しでした。

一方、青年部の協力によるわんぱく技能コンクールでは宝石箱作りや親子でものづくり挑戦する微笑ましい姿がみられた。会場の全議連マイスターコーナーでは県連副会長の小阪広行さんが『認定マイスター』であることの紹介がされており、建築大工の明細な仕口作品で技能をアピールしました。



また、今回はステージイベントとして、金沢城復興元工事に生きたる百万石の伝統技術「実演&体験」が催され、石川の伝統技術が金沢城復興元工事写真パネルを用いて、河村相談役からは大工工事の要点が、ほかの各団体代表からそれぞれ専門工事の要点がPRされ、来場者は熱心に傍聴していました。

恒例の「いしかわ技の祭典」では建築大工の部門に七人の選手が出場し、併せて将来大工を目指すであろう二名の金沢市立工業建築科生徒も一緒に出場し、日頃磨いた腕を競いました。来場者も日頃間近で見るとの出来ない大工の『技』を真剣に見守っていました。



まつりの終盤で表彰式が行われ、職業能力開発の普及と啓発に功績のあった個人に石川県知事、職業能力開発協会長等の賞状並びに記念品が贈呈され、又、技能コンクールの優秀者三人が知事賞を受賞しました。

最後に皆様から寄贈頂いた即売品の集計額は一〇三、一一〇円となり大変好評でした。出品者の皆様に感謝申し上げます。

「石川の技能まつり」に参加

第四十三回

第三十一回 全国青年技能競技大会開催される



「踏み台」の制作で技能技術を競いました。石川県連から田村雅史さん（金沢西部建築組合）、伏木繁治さん（宇ノ気建築組合）の二選手が参加しました。

さすがに全国からの腕自慢が集まる大会だけに完成作品はいずれも高レベルで、金賞は三重建設所所属の村林成一さんが獲得しました。石川県連の代表は惜しくも入賞を逃しましたが、今後若手の皆さん、日頃から腕を磨き、上位入賞を目指そうではありませんか。

年に一度の全国青年技能者の代表（三十五才以下）が、日頃培った技術を競う「全国青年技能競技大会」は、九月二十二日〜二十四日まで長野県松本市「松本総合体育館」で開催されました。

大会には全国三十一県連・組合から七十三選手が参加し、課題の「四方転び



グラウンドゴルフ大会

第二十一回グラウンドゴルフ大会が八月二十三日（日）津幡運動公園グラウンドゴルフ場にて各地区から選ばれた一〇五名が参加して行われた。お盆過ぎとは言え気温も高く、熱中症も懸念されたが、高台にあるグラウンドゴルフ場には時折爽やかな初秋の風も吹き、各チーム上位入賞をめざして、熱の入ったプレーが続いた。

またホールインワンがあると喝采して選手同士たたえ合っていました。怪我もなく、熱中症になることもなく参加者全員無事にホールアウト



■成績 参加者 105名

順位	所属	氏名	打数
1	内灘	出島 憲次	38
2	宇ノ気	油井 徹	38
3	金沢市	油木 寿美男	38
4	高松	坂本 孝彦	39
5	内灘	中本 信裕	40
6	厚生部	根部長 洋二	40
7	羽咋	田中 喜美子	41
8	津幡	渡邊 治良	41
9	津幡	辰巳 進一	42
10	白山市	山崎 栄	42
15	羽咋	田中 日出男	43
20	厚生部	北嶋 章光	45

金沢城復元「匠の技」セミナーを開催

一般県民が伝統的建造技術を学びました

今年で十二回目を数える、「石川の伝統的建造技術」を伝える会（事務局 石川県建築組合連合会）主催の「匠の技」セミナーは十一月二十一日（土）午後から金沢城・兼六園管理事務所レクチャールームにおいて開催された。

肌寒い小雨の交じる日も関わらず、四十三名と多くの県民の方が参加された。最初に石川県土木部管轄課新村課長が挨拶の中で「金沢城復元の経緯を紹介する挨拶の後、伝える会の川元会長からは「技能を継承し若手職人を育成することの大切さ」を話され、続いて五月の全国植樹祭の折天皇皇后両陛下

が金沢城にお立ち寄りになり、お声を掛けて頂いた。」と紹介があった。

続いて工事別内容紹介に入り、大工建築工事は県連相談役の河村松一氏から橋爪門の建設内容の紹介等、石工事は石材組合連合会の会長から橋爪門床敷石の施工について、左官工事は左官組合連合会の大道理事から、また建具工事については建具協同組合の石森理事長が、鉛瓦工事については金属屋根協同組合の内尾

専務理事が、またタイル工事についてはタイル煉瓦事業協同組合の原田、古谷両副理事長がそれぞれ専門業務の工事の内容と苦心した点について説明し、受講者の人たちは熱心にメモを取っていた。

講義の後、事務所の仮設テントに移り、土壁下の地の小舞竹の縄止めの実技



中学校でものづくり出前講座を実施

昨年から実施している石川県職業能力開発協会の支援による「ものづくり出前講座」。今年は、六月に加賀市と小松市の小学校二校ですでに実施しており、今回は要請のあった七尾市立田鶴浜中学校と珠洲市立

出前ものづくり講座に参加して

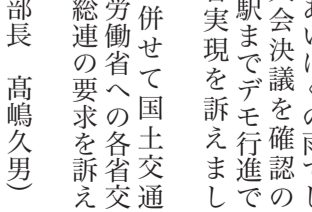
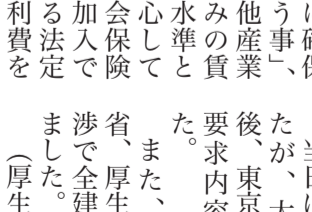
建築大工体験講座に、ものづくりマイスターとして、九月八日に田鶴浜中学校へ行ってきました。担任の金子先生の挨拶の後、県職能協会の佐藤さんよりマイスターの佐田講師、谷澤講師、岩上講師そして私、小阪の講師紹介がありました。

まず最初に佐田講師より大工工事についての概要説明の後、鉋削りを実演し、カンナくずが出る生徒たちは不思議そうに見ていました。続いて釘打ち、鋸挽きの実演を二人のマイスターで行いました。鉋削りは生徒二〜三人で体験してもらい、釘打ち、鋸挽きは作業の注意事項の説明の後四班に分かれて各マイスターの指導に従いながら

今回は男子生徒より女子生徒のほうが出来栄は良かったようです。

今後も引き続き県内の学校で講座が継続し、この中から未来のマイスターが生まれることが出来たらいいなと感じました。

（技術部 小阪広行）



（厚生部長 高嶋久男）

11・25賃金・単価引き上げ、予算要求中央総決起大会開催

「法定福利費 正念場迎える！」

全建総連は十一月二十五日、東京・日比谷野外音楽堂で予算要求中央総決起大会を開催した。四十九県連・組合から五、三〇〇名が参加、石川県連からは河村会長、松本会計理事、そして私、高嶋の三名が参加しました。

石川県連は大会に先立ち、議員会館に地元選出の佐々木紀、馳、北村茂男、岡田直樹、山田修治、宮本周司の六国会議員を訪ね、「国民医療の拡充、建設国保の育成強化」「国庫補助の現行水準の確保」について書面を持参して要請いたしました。

今大会は「建設国保への国庫補助の確保を各県に確保願う事」、「他産業並みの賃金水準と安心して社会保険に加入できる法定福利費を確保する事」、「若者が入職できる環境づくりのための運動を全国に広げていく事」を確認しました。

いつも皆様にお願ひしているハガキ要請が全国で十三万六、五四〇枚となり、このハガキ要請があればこそ我々の国保が守られていくとつくづく感じました。今後ともご協力よろしくお願ひします。

当日はあいにくの雨でしたが、大会決議を確認の後、東京駅までデモ行進で要求内容実現を訴えました。

また、併せて国土交通省、厚生労働省への各省交渉で全建総連の要求を訴えました。




新しい仲間

金沢西部	金沢市	小松東部	堀口	賢二	三〇才														
山田	森尾	北川	宮崎	繩手	戸田	泉田	平田	林田	徳家	桑原	宮腰	畑由	畑由	南井	坂井	竹田	堀口	賢二	三〇才
達彦	豊哉	光和	伸一	孝一	優斗	楓馬	孝使	靖幸	一由	和稔	昭二	宏彰	透	三〇才					
五二	二七	二七	三五	四四	三六	二八	一九	一七	四四	四五	三六	五〇	三五	六五	四五	四二	三〇	三〇	三〇

全国建築士会連合会表彰

池田英智氏 (金沢市建築組合) (十月三十日)



大多聡氏 (森本建築組合)

稲垣秀義氏 (志賀町建築組合)

田村雅史氏 (金沢西部建築組合)

いしかわ技の祭典優秀賞(知事賞)



石川県技能顕功賞知事表彰

覚幸 外志雄氏 (小松市建築組合)

黒川謙次氏 (輪島市建築組合)



平成二十七年 各種表彰

石川県優良建設功労者知事表彰

堀口傳壽氏 (橋立建築組合) (十二月二十五日)

高嶋久男氏 (森本建築組合)



全建総連功労者表彰


池田英智氏 (金沢市建築組合) (十月三十日)

宮田純一氏 (小松北部建築組合)



全技連マイスター認定

宮本修一氏 (金沢市建築組合) (十一月五日)



国民健康保険組合中央会表彰

塩崎しげ子氏 (県連職員)



金沢西部	吉藤	澄	五八才
金沢市	向井	純子	三九才
森石	藤村	長太郎	三六才
森本	矢伝	裕	五一才
内灘	中川	翔	三一才
宇ノ気	片山	太雅	一八才
志雄	唐仁	貴元	二二才
志雄	南	達也	五九才
志雄	中山	直幸	四九才
志雄	屋敷	和正	三八才
志雄	島毛	翔論	四七才
志雄	坂口	嘉彦	五七才
志雄	輪島	嘉彦	四〇才

平成二十七年物故者

金沢市 細見英生 三九才
金沢市 高山重信 六七才

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

中建国保ニュース

マイナンバー制度開始

いつも中建国保の事業運営にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

すでにお住まいの市町村から個人番号の通知が手元に届きましたでしょうか？中建国保からも11月初旬に「個人番号を提供していただくお願い」についての通知を郵送したところです。内容を確認のうえ、ご記入・必要書類を付けて郵便局の窓口へ直接お持ちください。なお、石川支部として各出張所へのお持ち込みは受付していませんが、記入方法のご相談は石川支部・出張所にて対応しておりますので、ご協力宜しくお願いします。

マイナンバー制度の開始時期は平成28年1月になり、加入や脱退などの資格に関する手続きや現金給付の申請に個人番号を記入していただきます。あわせて本人確認が必要になりますので、ご理解・ご協力宜しくお願いします。
(会計理事 中建担当 沖野恒久)



今から始めよう！ インフルエンザ対策！！

この時期になると、心配なのがインフルエンザの流行です。通常、インフルエンザのシーズンは11月下旬から12月上旬に始まり、1〜3月にピークを迎えます。流行してからではなく、寒くなってから早めに対策をしておきましょう。

★インフルエンザを知ろう！★

■ インフルエンザと風邪の違いは？
インフルエンザの特徴は、風邪とは違い、**高熱と全身症状(頭痛、関節痛、筋肉痛)**です。体調の変化を感じたら、医療機関への早めの受診が大切です。

■ どうしてインフルエンザにかかるの？
感染経路は「飛沫感染」と「接触感染」があります。

飛沫感染

感染者のくしゃみや咳などと一緒ウイルスが放出

別の人が、そのウイルスを口や鼻から吸い込む

接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえ、その手でドアノブやスイッチなどに触る

別の人が触り、その手で口や鼻を触る

感染

健康応援団！！
一般財団法人 石川県予防医学協会
ISHIKAWA HEALTH SERVICE ASSOCIATION

★インフルエンザ予防のポイント★

インフルエンザワクチンを接種する
接種してもインフルエンザにかかることがありますが、重症化を防ぐ効果があります。

手洗い、うがいをする
どこにウイルスが潜んでいるかわかりません。付着したウイルスは早い段階であれば手洗いやうがいを取り払うことができます。

人ごみに行かない、マスクを着用する
インフルエンザが流行したら、人ごみに行かないことです。感染者と接する可能性がある時は、マスクを着用しましょう。

日頃の体調管理も大切
質の良い睡眠や栄養バランスの良い食事をとることで、体力や抵抗力が高まります。

周りの人にうつさないために...
熱がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

平成27年度 住宅省エネルギー施工技術講習会開催

12月〜2月にかけて県内3地区で

国では、新築住宅における省エネルギー基準適合率を平成32年までに100%とすることを目的に、地域の木造住宅建設を担う大工技能者等施工技術者を対象に全国で20万人の大工を養成する事として、平成24年から開始し、今年で4年目です。

今年度中に石川県では150名〜200名の方に受講していただく予定で、講習会準備を進めており、金沢会場第1回目が12月13日(日)に開催となります。(終了済)

次のとおり3会場で開催予定です。どうか早めにお申し込みください。

- 金沢会場(金沢職人大学校研修室)
12月13日(日)・1月17日(日)・2月21日(日)
 - 小松ドーム会議室
1月24日(日)
 - 七尾会場(七尾サンライフプラザ 会議室)
2月7日(日)
- ※各回定員50人
各組合の皆様のお申し込み受付中です。



探検 チョロチョコ ぼくのまち

加賀市塩屋町 森光 優 (三木建築組合)

今回は片山津温泉の柴山瀉にかかります。源平橋のたもとにある公園、篠原古戦場の首洗池に行ってみよう。

名刺だけでは怖い感じがしますが、実際に訪れてみますときちんと整備された公園になっており、思ったほど怖い場所ではありません。三人の銅像がありますが、その時の場面を再現してお見せして、結構リアリティがあります。中でも源義仲(首を持っている人)の像が、長年の雨

のせいかなと涙をながして天を仰いでいるかのように見えます。

池の脇の小道を上を歩くと、名もなき小さな御堂があります。それがまたいい感じで、トトロのまっくろくろすけが今にも出てきそうです。



今後の行事日程

1月16日(土)	技能検定試験 建築大工	(金沢産業技術専門校)
2月23日(火)	第4回相談役・理事・組合長合同会議	(地場産業振興センター)
3月中旬	保険証交換会	(地場産業振興センターの予定)
3月16日(水)	建設共同高等職業訓練校修了式	(建設センター3階)